

中部圏広域地方計画に関する
プロジェクト検討参考資料
(プロジェクト骨子)

本資料は、広域地方計画に位置づけるプロジェクトに関する中部圏広域地方計画協議会構成機関による平成21年3月末時点での検討の概要を骨子及び説明図表として整理したものであり、今後これを基礎として、更なる検討を加え、プロジェクトに関する記述内容を中間整理に加えていくものである。

【目 次】

＜中部圏のリーディングプロジェクト 骨子案＞

1. ものづくり産業の競争力強化プロジェクト	1
2. 次世代産業イノベーションプロジェクト	2
3. 低炭素社会実現プロジェクト	3
4. いきもの共生プロジェクト	4
5. 国際ゲートウェイ中部プロジェクト	5
6. まんなか巡り観光交流プロジェクト	6
7. 高次都市機能・連携強化プロジェクト	7
8. 農山漁村の活性化プロジェクト	8
9. 多文化共生先進圏づくりプロジェクト	9
10. 暮らしの安心・快適プロジェクト	10
11. 文化継承・創造プロジェクト	11
12. 災害克服プロジェクト	12
13. 三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト	13
14. 伊勢湾再生プロジェクト	14

＜北陸圏との連携プロジェクト 骨子案＞

1. まるっと北陸・中部観光魅力増進プロジェクト	15
2. 広域物流ネットワーク（日本海～太平洋）構築プロジェクト	16
3. 環白山・環北アルプス広域エコロジープロジェクト	17
4. 広域防災・災害応援ネットワークプロジェクト	18

＜東北・首都・近畿圏との連携プロジェクト 骨子案＞

1. 東北圏・首都圏との連携プロジェクト	19
2. 近畿圏との連携プロジェクト	21

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

1. ものづくり産業の競争力強化プロジェクト

■目的・コンセプト

社会経済のグローバル化のなか、中部圏のものづくり産業の国際競争力の強化が重要な課題となっている。現在の基幹産業である自動車・機械産業等の国際競争力を維持・強化するため、ものづくり人材の育成・確保、既存産業の集積・連携の深化・拡大の推進、利便性の高い物流拠点の提供及び産業用地、交通網、電力・水などの基盤の拡充・強化を図り、ものづくり産業の競争力を強化する。

■具体的取組内容

- (1) 国際競争力を維持・強化するため、源泉となるものづくり人材の育成・確保
 - ・高度な熟練技能をもつものづくり人材の技術・技能の継承や後継者育成・確保
 - ・地域の産業界と専門高校、行政等の連携によるものづくり産業を支える将来の専門人材の育成・確保
 - ・ソフトウェア開発などを担う専門人材の育成・確保
- (2) 国際競争力を戦略的に強化するため、既存の産業集積・連携の深化・拡大の推進
 - ・グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ等による海外からの企業誘致、国際的な人材・技術交流の促進
 - ・水平分業の展開などアジアの国・地域との経済パートナーシップの構築
- (3) 産業活動を支える基盤強化のため、空港・港湾周辺などへの利便性の高い物流拠点の提供
 - ・空港周辺や臨海部などでの産業・物流拠点の形成
 - ・中部国際空港などの空港や港湾の利活用促進
- (4) ものづくり産業の活発な生産活動の展開や積極的な投資を喚起するため、産業用地、交通網、電力・水など基盤を拡充・強化
 - ・臨海部など高い利便性を備えた産業用地の供給
 - ・高規格幹線道路沿線などにおける産業用地の整備
 - ・ダム建設など電力・水の安定供給基盤整備の推進
 - ・高規格幹線道路、地域高規格道路などの整備による物流ネットワークの構築
 - ・C I Q体制の充実などシームレスな物流ネットワークの構築
 - ・スマートインターチェンジなどの整備・活用による物流の効率化を推進
 - ・港湾と物流拠点を結ぶ主要ルートにおける国際コンテナ通行支障区間の解消

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

2. 次世代産業イノベーションプロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏が産業・技術のイノベーション圏として日本及び世界を先導していくためには、イノベーションを誘発し、その積極的な展開を図るための地域環境づくりが必要である。産学官連携体制の強化や核となる研究開発中枢拠点機能等の充実、高度人材の育成・活用、裾野産業の強化などを進め、ナノテク・バイオ、航空宇宙産業、環境産業等の次世代を担う産業技術の育成・集積を促進することにより、次世代産業の創造を推進する。

■具体的取組内容

(1) イノベーションを誘発するため、産学官連携体制の強化・ネットワークの形成

- ・中小・ベンチャー企業と大企業や大学等研究機関とのマッチング支援・強化等による産業クラスターの形成促進
- ・大学、公的研究機関等の関連研究機関、研究開発型企业などによる知的クラスター創成事業の支援

(2) 中部圏産業のイノベーションを積極的に展開するため、核【コア】となる研究開発中枢拠点の整備

- ・航空宇宙産業をはじめとした次世代産業の研究施設の誘致・整備
- ・先端技術研究開発の先導的役割を担うセンター機能の整備
- ・先端的な研究成果の技術・製品開発への展開を促進するためのセンター機能の整備
- ・自動車産業をはじめとしたものづくり産業の産業技術中枢拠点の形成

(3) イノベーションの創発を担う人材確保のため、高度人材の育成・活用を推進

- ・イノベーションを担う高度人材育成プログラムの開発・展開
- ・海外から高度人材を受入・活用する産学官連携による体制整備
- ・イノベーションを担う産学連携による高度人材育成機関の整備

(4) イノベーションを支える裾野産業強化のため、中小・ベンチャー企業の活性化

- ・創造性・新規性あふれる事業の創業者等への総合的支援の展開
- ・異分野が連携した新商品開発・販路開拓支援
- ・ものづくり基盤技術の高度化支援

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

3. 低炭素社会実現プロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏は過度に自動車へ依存しており、その脱却を図るため環境負荷の少ない交通体系の構築などの取組を進める。また、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の発生を抑制するため、二酸化炭素発生源・吸収源対策を促進し、低炭素型の地域づくりを進めるとともに、ものづくり産業が有する環境技術を生かした、新エネルギー・次世代エネルギーの利活用促進や環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るための環境意識醸成など低炭素社会の先導的なモデルとなる取組を推進する。

■具体的取組内容

- (1) 自動車への過度な依存から脱却を図るため、環境負荷の少ない交通体系の構築
 - ・温室効果ガス削減に向けた運輸部門の行動計画・指針の策定
 - ・事業者の自動車環境対策への取組を促すための啓発活動の推進
 - ・低公害車、低燃費車の開発支援、導入促進
 - ・パークアンドライドやエコドライブなど官民一体となった広域的な普及促進
- (2) 都市構造の観点から二酸化炭素の発生を抑制するため、低炭素型まちづくりを推進
 - ・まちなか居住の推進や土地利用の高度化などによる集約型都市構造への転換促進
 - ・環境に配慮したモデル住宅の供給などによる住宅や建築物の省エネルギー性能の向上
 - ・地域冷暖房システムの導入促進など地域特性に応じた効率的・総合的なエネルギー利活用の促進
- (3) 化石燃料への過度な依存から脱却を図るため、新エネルギー・次世代エネルギーの活用を推進
 - ・水素エネルギーなどの新エネルギー実用化に向けた産学官による研究開発・技術開発の促進
 - ・太陽光発電や風力発電などの普及・活用による自然エネルギーの利用促進
- (4) 環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るため、国民や企業への啓発活動などによる環境意識の醸成
 - ・環境学習施設などを拠点とした国民向けの体験型環境学習の推進
 - ・国民のライフスタイル変革や事業者の環境配慮行動に向けた啓発活動の展開
 - ・自転車利用の促進や公共交通への転換促進など、国民が自動車に過度に依存しないまちづくりの推進
- (5) 地球温暖化抑制のため、二酸化炭素吸収源対策を推進
 - ・二酸化炭素の吸収源対策として、山地、里山、都市などの地域特性に応じ、産学官民連携による二酸化炭素吸収源となる森林などの整備
- (6) 地球温暖化抑制のため、新たな総合的な取組の推進
 - ・地域エネルギー温暖化対策推進会議を通じ、エネルギー・温暖化対策についての情報交換・共有及び取組を推進

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

4. いきもの共生プロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏は、我が国でも有数の豊かな自然を有し、多様な生物が生息・生育する地域である。中部圏の誇る豊かな自然を保全し、持続可能な利用を図るため、森林・里地里山・河川・海など地域特性に応じた環境保全対策等を推進するとともに、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の開催を契機として生物多様性を保全するための先進的な取組や活動の支援・推進を行うことで、「人」と「いきもの」が共生する先進的な圏域を形成する。

■具体的取組内容

- (1) 中部圏が誇る豊かな自然の保全と持続可能な利用のため、森林・里地里山・河川・海など地域特性に応じた自然環境保全対策等の推進
 - ・野生生物の生息環境や生態系の保護・管理による中部圏エコロジカルネットワークの構築
 - ・豊かな自然の保護・保全に資する自然公園の保全・管理
 - ・富士山の環境保全対策の推進
 - ・湖沼における水質保全対策の推進
 - ・水田・水路、ため池等の水と生態系保全の推進
- (2) 生物多様性の保全を推進するため、「人」と「いきもの」が身近で共生する環境の整備
 - ・里地里山の保全再生事業の推進
 - ・林業・木材産業の再生・活性化による森林の保全・管理
 - ・各河川における多自然川づくりの推進など多様な動植物が生息・生育する河川環境の維持・再生
 - ・身近に自然とふれあうことができる公園の整備推進
 - ・有機農業や環境保全型農業などにより生物多様性の保全を推進
- (3) 地域環境や生物多様性の保全を推進するため、多様な主体の参画の促進
 - ・国際的なイベントを契機とした多様な主体の交流・連携の促進による取組の高度化の推進
 - ・多様な主体による森林づくりなど産学官民の連携による自然環境の保全・再生
 - ・下流域から上流域への人的・金銭的支援など、森林保全を支援する新たな取組の推進
 - ・環境教育・学習の推進、環境意識の醸成

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

5. 国際ゲートウェイ中部プロジェクト

■目的・コンセプト

世界をリードするものづくりの拠点であり、国際空港・国際港湾を有する中部圏には、我が国の広域ブロックゲートウェイを形成し、人・モノ・文化・情報の流れにおいて、アジア・世界の架け橋となる国際的なハブとして大きな役割を果たしていくことが求められている。このため、国際交流・物流拠点である空港・港湾の機能強化及びそれら国際拠点へのアクセス性の高いネットワークの形成を図ることで人流・物流を促進する。さらに、国際的なイベント・コンベンションの誘致・開催を通じて国際交流ポテンシャルの向上やグローバル化への対応を図り、国際的な文化・情報の交流を促進することにより、国際ゲートウェイの形成を推進する。

■具体的取組内容

- (1) アジア・世界の人流・物流のハブ機能を担うため、国際交流・物流拠点となる空港・港湾の機能強化
 - 【『空』の国際ゲートウェイを担う空港機能の充実・強化】
 - ・中部国際空港の完全24時間化に向けたエアポートセールスなど路線の誘致や需要拡大を推進
 - ・トータルリードタイムの短縮やコスト低減策など中部国際空港における物流効率化を推進
 - ・ビジネスジェット機の拠点機能などそれぞれの地域特性にあった地方空港の機能活用
 - 【『海』の国際ゲートウェイを担う港湾機能の拡充・強化】
 - ・スーパー中枢港湾プロジェクトの推進、港湾における国際海上コンテナターミナル、多目的国際ターミナルの整備、高質化の推進
 - ・臨海部用地を活用した産業・物流拠点の整備
 - ・中部圏の港湾への定期航路拡充や利用促進に向けたポートセールスなどの展開
 - ・入港諸手続のワンストップ化など港湾手続きのサービス高度化による物流効率化の推進
- (2) 広域ブロックゲートウェイの高いアクセス性を担う骨格形成のため、高速交通ネットワークを形成
 - ・中部国際空港へのアクセス性を向上させる高規格幹線道路や地域高規格道路などの整備
 - ・各地方空港へのアクセス性を向上させる高規格幹線道路や地域高規格道路などの整備
 - ・港湾へのアクセス性を向上させる高規格幹線道路や地域高規格道路などの整備
- (3) 我が国のゲートウェイとして人・モノ・文化・情報が交流する、メッセージ性の高い国際的なイベント・コンベンションの誘致・開催
 - ・活発な国内外の観光・文化・情報交流を促進する国際イベントの誘致・開催
 - ・産業・国際ビジネスの活性化等に寄与するイベント・コンベンションの誘致・開催
 - ・世界各国から人を集めるイベント・コンベンションの誘致・開催

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

6. まんなか巡り観光交流プロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏が観光交流の中核拠点の役割を担うためには、中部全体のブランド力の強化、広範囲に点在する観光資源の連携による広域ネットワーク化等を推進し、圏域内はもとより隣接圏との観光交流や訪日外国人観光客の来訪を促進する必要がある。このため、地域の関係者の連携による観光推進組織体制を確立し、ターゲット別に産業観光、街道観光等中部圏の特色ある地域資源を活かした観光メニューを造成し、観光誘客並びに滞在型観光を促進する。また、利便性の高い交通網を整備し、それを活かして各地域の資源をテーマやストーリーで結ぶことにより、リピート性・周遊性の高い広域観光ルートの設定を図る。併せて企画力のある一体的な観光情報ネットワーク体制を確立し、各観光地が有する魅力を国内外に効果的・持続的に情報発信することにより、中部圏の知名度の向上と国内外交流の拡大を推進する。

■具体的取組内容

- (1) 地域の関係者連携による観光資源の磨き上げを推進し、中部圏への観光誘客と滞在の促進を図る
 - ・地域ごとの観光推進組織による観光資源の発掘・創造や宿泊の魅力向上等を推進
 - ・産業観光施設のネットワーク化を推進
 - ・街道・武将・都市観光をはじめとする歴史的・文化的資源を活かした観光魅力の連携強化
 - ・離島間の交流など観光振興に資する湾内・流域連携を促進
- (2) 四季自然・歴史文化・ものづくり体験など中部圏の持つ魅力をテーマやストーリーで結ぶことにより、リピート性や周遊性の高い広域ネットワークの構築を推進
 - ・長い桜のシーズンと雪を組み合わせるなど中部圏の強みを活かした国内外からの観光客のニーズに応じた広域観光ルートの設定を図る
 - ・中部圏及び隣接する圏域の高規格幹線道路、地域高規格道路、空港、鉄道など観光地間を結ぶネットワークの形成
 - ・観光地への交通集中による渋滞対策等の推進
- (3) 企画力のある一体的な観光情報ネットワーク体制を確立し、効果的・持続的な情報発信を推進
 - ・観光地における外国語版ホームページや旅行・観光パンフレット等の充実
 - ・観光推進組織などの企画機能を強化することによる戦略的な広域観光の展開
 - ・中部圏の観光に資する多様な情報について、海外メディアの招請などによる国内外への情報発信やPR活動を推進

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

7. 高次都市機能・連携強化プロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏全体が各都市圏の強みを発揮しながら活力を維持増進するためには、中枢拠点である名古屋市を中心とした名古屋大都市圏と多極分散型の地域構造を形成する拠点となる中核的都市圏において、機能強化と連携を図り、圏域全体の高次機能を高めていく必要がある。このため、名古屋大都市圏において、中部圏を代表する都市として具備すべき国際的、中核的都市機能のさらなる強化を進めるとともに、大都市圏内の中核的な都市圏との連携を強化・促進することで、中部圏の発展を牽引する重層的な大都市圏を形成する。また、各地域の中核的都市圏においても、特色ある機能の強化、活力向上を図り、都市圏間の連携強化により機能分担・補完を高める。さらに、隣接圏との連携強化を図ることで、各都市圏が特色を発揮しつつも一体感が醸成された日本のロータリーに相応しい圏域を形成する。

■具体的取組内容

(1) 中部圏の発展を牽引する名古屋大都市圏の国際的・中核的都市機能の集積・強化

【中部圏を代表する都市として具備すべき活力、賑わい、潤いなどの都市機能の強化】

- ・名古屋大都市圏の玄関口に相応しいビジネスなどの国際・広域交流拠点の整備
- ・多くの人が集い、交流する商業・文化・娯楽機能が集積した活気あるまちづくりの推進
- ・都市河川における親水空間整備など国際的・中核的都市に相応しい、うるおいと活気あふれる都市軸の整備

【国内外との交流を強化する交流機能の形成】

- ・「世界のまんなか」にふさわしい国際コンベンション機能の強化

【名古屋大都市圏内の都市圏の連携強化】

- ・環状道路やバイパスなど名古屋大都市圏の骨格となる基幹道路網の整備による都市圏の連携強化

(2) 多極分散型地域構造を支える地域の活力向上や特色ある都市圏を形成するため、中核的都市圏の拠点機能強化

【地域特性に応じた様々な強みを有する中核的都市圏における都市拠点の機能強化】

- ・地域を構成する都市圏の都市機能の強化・集約化、連携の促進

【広域的な交流を促進する交流機能の形成】

- ・都市圏内外の交流を促進するイベント・コンベンションの機能の強化

【中核的都市圏の形成を支える都市圏交通網の機能強化】

- ・拠点を結ぶ公共交通の再構築も含めた総合的なまちづくりの推進

(3) 中部圏の一体感醸成と圏域の更なる発展促進のため、都市圏間の連携強化と機能分担・補完の向上

- ・高規格幹線道路や地域高規格道路など都市圏間道路ネットワークの構築
- ・都市圏間を結ぶ鉄道・バスなどの交通ネットワークの充実
- ・光ファイバー幹線網など情報ネットワークの整備

(4) 日本のロータリー形成のため、隣接圏との連携強化に資する基幹ネットワークの構築

- ・高規格幹線道路をはじめ首都圏・近畿圏などの隣接圏を結ぶ広域幹線道路の整備
- ・中央新幹線について調査を進めるほか、新時代の革新的高速鉄道システムの早期実現を目指す
- ・中部圏の地方空港の利活用促進などによる航空ネットワークの構築
- ・隣接圏との連携強化に必要となる鉄道ネットワークの充実

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

8. 農山漁村の活性化プロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏の農山漁村地域では、過疎化や高齢化等の進展により、農林水産業等の産業が低迷し、活力が低下している。農山漁村の活性化のためには地域の基幹産業である農林水産業の持続的発展が不可欠であり、基盤整備など産業を支えるための取組や産業の維持・発展、さらには新たな展開に向けた取組を推進する。また、交流による活力の取り込みも必要であり、農山漁村地域の魅力向上や賑わい創出に向けた取組を推進する。さらに、安心して日常生活を送ることのできる環境整備を進め、暮らしやすい農山漁村を形成する。

■具体的取組内容

(1) 地域の基幹産業としての農林水産業の持続的発展のための取組の推進

【農林水産業を支える基盤の整備】

- ・ 基幹的農業用排水施設の整備を行う農業水利事業などによる農林水産業の生産基盤の整備・保全管理

【農林水産業の維持・発展に向けた施策の推進】

- ・ 耕作放棄地の解消・発生防止による農地利用促進など農地の有効利用
- ・ 地元木材の流通促進など地産地消の推進による地域経済の維持
- ・ 農林水産業の経営などへの意欲と能力がある担い手の育成・確保
- ・ 農林水産物の被害を防ぐための野生鳥獣被害対策の推進

【農林水産業の新たな展開に向けた施策の推進】

- ・ 農林水産業と商業・工業等との連携を強化し、地域経済の活性化の推進
- ・ 農林水産物の販路・市場拡大及び輸出の推進

(2) 農山漁村のさらなる魅力向上のため、地域資源の発掘・維持・保全・活用

- ・ 地域農産物等の独自基準による差別化と高付加価値化を図る認定制度の活用などによる地域ブランドの創出と展開
- ・ 地域資源の保全・管理
- ・ 地域の主体性と創意工夫を活かした多様な地域農業戦略の展開

(3) 農山漁村の賑わいを創出するため、都市部との交流促進

- ・ 農山漁村の活性化に資する新産業の創出
- ・ 高規格幹線道路や地域高規格道路など都市と農山漁村の活発な交流を推進する交通基盤の整備
- ・ 食の大切さや農林水産業への理解を深めるため農山漁村交流体験の推進
- ・ 交流・定住事業による農山漁村の新たな活力への支援

(4) 農山漁村で安心した日常生活を送るため、生活基盤の確保

- ・ 安心して生活し続けることのできる生活基盤の維持・保全・整備
- ・ 地域における医師の確保など持続的な地域医療・福祉体制の構築
- ・ 乗合タクシーの導入など地域関係者の連携による公共交通の活性化・再生に向けた取組の推進

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

9. 多文化共生先進圏づくりプロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏は、我が国を代表するものづくりの拠点であり、外国人労働者の占めるウエイトが高い割合となってきた。そうした外国人は、言葉や生活習慣の違いなどから労働、教育、医療など様々な分野で大きな課題を抱えており、中部圏の持続的発展にとって多文化共生社会づくりは必要な基礎的条件となっている。このため、就労機会の確保や外国人児童生徒の教育環境の確保、地域コミュニティをはじめとした多様な主体の活動による生活サポートや多文化交流の促進などの環境整備を進めることにより、多文化共生先進圏づくりを先導的に推進する。

■具体的取組内容

- (1) 定住外国人の就労機会を確保するため、外国人の就職や雇用の維持・創出支援等を展開
 - ・定住外国人の円滑な就職を支援する相談・支援体制の強化
 - ・定住外国人の技能向上に向けた研修制度の充実
 - ・「外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章」の普及促進など外国人労働者の雇用環境の整備
 - ・留学生招聘制度の拡充や留学生の就職支援
 - ・雇用環境の急激な変化などでも一定期間の生活を援助する取組の展開

- (2) 外国人児童生徒の教育環境を確保するため、就学支援のほか、日本語学習支援や居場所づくりなどを展開
 - ・公立学校への転入学希望者に対する就学支援
 - ・プレスクール事業（公立学校早期適応プログラム）の展開や外国人子弟の教育のための基金活用など外国人児童生徒に対する日本語学習支援

- (3) 外国人が安心して生活できる環境を形成するため、地域における生活サポート体制等の構築
 - ・多文化共生先進圏づくりに資する組織活動への支援
 - ・地域における多文化共生の意識啓発など先導的役割を担うセンター機能などの整備
 - ・外国人の相談・支援を行う人材の養成・育成
 - ・外国語で対応できる市町村等の相談窓口の情報提供による外国人住民の生活支援
 - ・行政と外国人とをつなぐ日常的なパイプ役の確保

- (4) 日本人住民と外国人住民双方の暮らしやすさを実現するため、地域における多文化交流の促進
 - ・コミュニティ単位での外国人住民と日本人住民との交流イベントの開催支援
 - ・地域社会へ積極的に参画するための体制の構築

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

10. 暮らしの安心・快適プロジェクト

■目的・コンセプト

子供から高齢者まで誰もが生き生きとして暮らせる地域社会を実現するため、日常生活を安心・快適に送ることができる環境整備を進める。誰もが利用することができる保健・医療・福祉サービスをはじめとした各種生活支援機能の整備・充実や、誰もが安心・快適に移動できる利便性、安全性の高い交通体系・基盤を構築する。また、万が一の場合でも地域によらず迅速な救急搬送を可能とする体制づくりを推進する。

■具体的取組内容

- (1) 誰もが安心して日常生活を送ることができる環境を実現するため、各種生活支援機能の整備・充実
- 【地域における保健・医療・福祉サービスの充実】
 - ・ICTを活用した在宅医療・診断の普及促進
 - ・保健・医療・福祉の総合的エリアの整備
 - ・医療・健康分野における先端的な研究開発の推進と健康長寿産業の育成
 - 【国民の豊かな暮らしを実現する生活環境整備】
 - ・生態系や景観に配慮した親水空間などによる日常の憩いの場の整備
 - ・公的賃貸住宅の的確な供給に加え、民間賃貸住宅の活用による重層的な住宅セーフティネットの整備
 - ・拠点機能を活用した高齢者等が安心して暮らせる地域づくりの推進
 - ・公共施設や道路空間におけるユニバーサルデザインの推進
 - 【誰もが社会参画できる環境の整備・機会の提供】
 - ・障害者などの社会参画機会を拡大するイベント開催や各種支援策の展開
 - 【安全・安心な水・食料の安定供給・インフラの安全性の確保】
 - ・安全・安心な食の供給体制の整備
 - ・渇水対策の推進
 - ・建造物の老朽化・長寿命化対策
- (2) 誰もが安心・快適に移動できる環境を実現するため、行政、運輸事業者による利便性・安全性の高い交通体系・基盤を構築
- ・DMVをはじめとする新たな輸送システムの導入検討
 - ・交通事故対策など安全性向上や慢性的な渋滞箇所の解消など交通の円滑化に資する道路整備
 - ・地域特性に応じた公共交通体系の総合的な再構築
 - ・歩行者や自転車から分離された自転車走行空間の整備など自転車走行環境の充実
 - ・バリアフリー法にもとづく重点整備地区などにおける安全・安心な歩行空間の整備
 - ・医療機関への迅速な搬送を可能とする、円滑な救急医療アクセスの充実
- (3) 万が一の場合でも迅速な対応を可能とするため、行政、医療機関が連携した広域的な救急医療体制を整備
- ・救急患者の迅速な搬送を可能とする消防と医療機関の情報共有化促進
 - ・ドクターヘリの配備・充実など県境を越えた広域的救急搬送体制の整備

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

11. 文化継承・創造プロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏は、富士山をはじめとした世界に誇る文化やものづくり産業の中核として培われた産業・ものづくり文化、また各地域の歴史風土に根ざした伝統、民俗などの地域文化といった多様な文化を有しており、それらを保全・活用するとともに、後世へ継承するための取組を推進する。さらに各地で胎動する新しい文化の創造・発信などの取組を進め、文化の要素を含めたまちづくり、人づくりを通じた文化の継承・創造を推進する。

■具体的取組内容

(1) 世界に誇る文化を後世に継承するため、世界遺産の保護・継承・活用の推進

- ・世界に誇る文化を継承する「紀伊山地の霊場と参詣道」、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」などの世界遺産の保護・活用の推進
- ・南アルプス世界自然遺産登録に向けた取組の推進
- ・富士山の文化的景観や自然環境の保全など富士山世界文化遺産登録に向けた取組の推進

(2) ものづくり産業に根付いた文化を継承するため、産業文化・ものづくり文化の展開

- ・中部圏のものづくり文化を継承・発展させるための交流促進
- ・魅力あふれるものづくり文化を創造・発信するための交流拠点機能の整備

(3) 歴史風土に根ざした地域文化を継承するため、有形・無形文化資源の保全・活用を推進

- ・祭り・からくりをはじめとする重要無形民俗文化財等の保全・継承など地域文化を継承するための取組支援
- ・地域の魅力・価値向上に資するまちづくり、地域おこしの取組の推進
- ・高い歴史文化価値の復元・継承
- ・地場産業のブランド力向上に向けた特産品開発や地域ブランド育成支援

(4) 中部圏の魅力を高める文化の創造と発信

- ・国際芸術祭や国際音楽祭など国際的なイベントの継続開催
- ・地域の誇る文化を国内外に発信するイベントの開催
- ・子供の文化芸術体験の拡大
- ・文化芸術の発信の場となる拠点施設の整備や利活用の推進

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

12. 災害克服プロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏は、東海・東南海・南海地震や内陸直下型地震及びそれによる津波の危険性が懸念されている。また、我が国最大のゼロメートル地帯を抱える地形条件から、高潮・洪水に対しても脆弱な地域である。近年では、地球温暖化の進展が地球レベルでの気温、海水面の上昇、洪水・高潮・干ばつ等の異常気象の増加等、広範な影響を及ぼすことが予想されている。このような災害から日本の大動脈が集中する太平洋沿岸の国土を保全し、また、減災の視点も重視した災害対策を推進することは中部圏のみならず、我が国の持続的な発展のためには不可欠である。こうした災害による社会経済活動への影響が大きな地域や、自然・地理的条件から災害に脆弱な地域での連鎖的・複合的被害を最小限に抑えるための社会資本整備や防災体制づくりを官民で戦略的に進めるとともに、広域的な連携体制を構築し、大規模災害を克服するための対策を強化する。

■具体的取組内容

(1) 災害に強い地域づくりを進めるため、戦略的な社会資本整備や防災体制づくりなどを推進

【大規模地震などの自然災害による被害を軽減するため、災害に強い社会資本整備を推進】

- ・台風や集中豪雨による洪水被害対策の推進
- ・流域での対応を含めた水害対策の総合的・計画的推進
- ・土砂災害・雪害対策の推進
- ・津波・高潮対策の推進
- ・社会基盤の耐震化推進
- ・ゼロメートル地帯での被害拡大防止対策の推進

【災害発生時の救助活動を円滑にするため、広域な避難地・避難路などの社会資本整備を推進】

- ・帰宅困難者対策の推進など避難地・避難路の確保
- ・防災公園・防災備蓄倉庫などの広域防災拠点の整備
- ・高規格幹線道路や地域高規格道路などの整備促進など緊急輸送路や代替輸送路となる道路、航路の整備
- ・空港、港湾周辺地域等における中核的な広域防災拠点の整備

【自然災害による被害を軽減するため、減災の視点を重視した災害に備える体制づくりを推進】

- ・火山防災対策の推進
- ・高度防災情報ネットワークの構築
- ・地域における防災体制づくりなどによる地域防災力の向上
- ・行政、民間企業におけるBCPの策定推進

(2) 大規模地震発生時の連鎖的・複合的被害を最小限に抑えるため、住宅など建物の耐震化推進

- ・公共建築物などの耐震診断及び耐震補強の促進
- ・住宅・建築物の耐震化推進

(3) 災害時の円滑な救助活動を展開するため、広域連携体制などの構築

【災害時の二次被害を抑制するため、救助活動を円滑にする広域な連携体制の構築】

- ・災害相互応援協定など広域的な防災・危機管理体制の構築
- ・中山間地域・沿岸地域での孤立集落対策の推進
- ・関係機関相互や住民への効果的な防災情報の提供

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

13. 三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト

■目的・コンセプト

天竜川・豊川による豊かな自然資源に恵まれ、その基盤を元に、生活、産業、文化が形成されてきた三遠南信地域は、輸送用機械、電子、光技術などの高度な産業が集積する地域である反面、中山間地域では、人口減少・少子高齢化傾向が著しく、伝統に育まれた地域文化や、地域コミュニティの維持が課題となっている。こうした課題を解決し自立的な地域を創造するため、産学官民が共通の目標とする「三遠南信地域連携ビジョン」の実現に向けた取組を推進し、自立的な流域都市圏を形成及び山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理に取り組む。また、三遠南信流域都市圏での取組を天竜川流域圏全体へと波及させることができるよう、地域戦略に基づく県境を越えた地域間の交流・連携や地域資源を有効に活用した取組を展開する。

■具体的取組内容

(1) 三遠南信地域連携ビジョンの推進

- 【人・もの・情報の流動を進め、自立的な地域の創造を支える地域基盤を形成】
 - ・人とももの流動を促す高規格幹線道路や地域高規格道路などの交通網の整備を推進
 - ・県境を越えたメディアの連携などにより、交流や企業連携を促進
- 【既存産業の活力増進や新規産業の創造を図り、持続発展的な産業集積を形成】
 - ・農商工連携や産学官連携により特徴ある産業クラスターを形成
 - ・大学や研究機関等の連携を促進
- 【情報発信やプラットフォームづくりを進め、塩の道エコミュージアムを形成】
 - ・圏域内外における地域物産販路拡大を推進
 - ・公共交通機関の利便性向上を促進し、沿線地域などの観光資源のネットワーク化を推進
- 【自然資源の循環や流域での定住化等の推進を図り、中山間地域を活かす流域モデルを形成】
 - ・健全な水・物質循環を構築していくための治水対策などを推進
 - ・海域の保全・再生のため、遠州灘沿岸など海岸侵食対策などを推進
- 【住民の生活環境の維持と質的向上を推進し、広域連携による安全・安心な地域を形成】
 - ・広域連携による県境を越えた医療・福祉サービスの連携促進
 - ・県境を越えた防災体制の整備

(2) ビジョンを後押しするため、天竜川流域の連携した取組を推進

- ・水源地域の保全・活性化のための取組を推進
- ・上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制構築を促進

中部圏のリーディングプロジェクト 骨子(案)

14. 伊勢湾再生プロジェクト

■目的・コンセプト

中部圏を流れる河川の水質は徐々に改善されてはいるが、こうした河川が流入する伊勢湾、三河湾などの閉鎖性水域においては水質の改善が進んでおらず、水質汚濁の慢性化、底層水の貧酸素化などによる生態系への影響が懸念されている。また、干潟・浅場・藻場の減少、自然海岸の減少、漂着ゴミや流木等の問題が多く残されている。

こういった背景のもと、安心して利用できる水が安定して確保され、美しく豊かで多様な生物が息・生育する伊勢湾流域圏を形成し、産業物流拠点としての優れた機能を活かしつつ、自然との共生、親水性に配慮し、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる健全で活力ある伊勢湾を再生することが求められている。

そのため、健全な水・物質循環の構築、多様な生態系の回復、生活空間での憩い・安らぎ空間の拡充の3つを基本方針とし、“人と森・川・海”といった伊勢湾流域圏が一体となり、そこで活動する人々、NPO、企業及び大学等研究機関などの多様な主体が連携しつつ取組を継続して推進する。さらに、これまで定量化が難しかった取組効果を明らかにするため、研究者と連携を図りつつ環境劣化・再生メカニズムの解明を進め、目指す伊勢湾流域圏の姿を実現するための具体的な数値目標の設定及び効果的な施策の展開を図る。

■具体的取組内容

- (1) 伊勢湾流域圏の健全な水・物質循環を構築するため、汚濁負荷の削減、森林、農用地等の保全・整備、水質浄化機能の保全・再生・創出等を推進
 - ・市街地における流域下水道事業など、汚濁負荷削減の推進
 - ・環境保全型農業推進事業など水環境に配慮した農業の推進
 - ・森林整備事業など水源地域における水質浄化機能の保全・再生・創出
- (2) 多様な生態系と漁業生産の回復を図るため、干潟、浅場、藻場等の保全・再生・創出等を推進
 - ・漁場環境保全創造事業など干潟、浅場、藻場等の再生および保全
 - ・海域環境創造事業や深掘後の埋め戻しなど、海域の環境改善
- (3) 生活空間での憩い・安らぎ空間を拡充するため、人々が水辺に親しめる緑地、景観等の形成
 - ・ふるさと海岸整備事業など安全な人と海とのふれあいの場および機会の創出
 - ・親水公園など人々が水辺に親しめる景観の形成
 - ・「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」や海洋環境整備事業などゴミのない美しい水辺空間の保全
- (4) 行政と流域圏の人々・NPO、企業及び大学等研究機関等の多様な主体による協働・連携の促進
 - ・『伊勢湾環境モニタリング』での国、自治体、港湾管理者、研究者、NPOなどの連携
 - ・企業との協働による森づくり推進事業など企業との連携
 - ・中部圏で培われた先進的な水環境技術の産学官の連携による世界への発信

北陸圏との連携プロジェクト 骨子(案)

1. まるっと北陸・中部観光魅力増進プロジェクト

■目的・コンセプト

北陸圏・中部圏は、海外でも著名な我が国を代表する観光地や世界遺産が数多く存在しており、こうした各地域に点在する自然、歴史、文化等多分野にわたる観光資源を活かして、外国人の観光客の誘客・滞在を促進するため、北陸圏・中部圏の諸空港や交通ネットワークを活用した回遊性の高い広域観光ルートを開発する。

また、外国人観光客の人気を集めている先進事例も踏まえ、訪日外国人向けのサービスを強化するなど、各観光地の魅力を増進するとともに、その魅力を効果的に情報発信する取組を進める。

■具体的取組内容

- (1) 外国人観光客誘客促進のため、多様なニーズに応じた魅力溢れる広域観光ルートを整備
 - ・両圏域に存在する空港を最大限に活用した広域観光ルートの開発を推進
 - ・両圏域に連なる豊かな自然や地域の伝統的な祭典、イベント、文化体験などの広域ネットワーク化を推進
- (2) 魅力的な広域観光ルート支える交通ネットワークの整備
 - ・観光地へのスムーズなアクセスを可能にする交通ネットワークの整備
 - ・交流・連携を促進する基盤の整備を契機とする自然・文化等を活かした長野県・岐阜県と北陸三県の観光地連携の促進
- (3) 知名度を上げ、訪れてもらうため、地域の魅力を積極的に情報発信
 - ・国際会議などのイベントを契機とした官民一体となった観光プロモーションの推進
 - ・広域連携による観光振興の推進主体などによる一体的な情報発信の推進

北陸圏との連携プロジェクト 骨子(案)

2. 広域物流ネットワーク(日本海～太平洋)構築プロジェクト

■目的・コンセプト

日本海と太平洋に跨る広域のエリアで、戦略的に広域物流ネットワークを構築していくことにより、急速な経済成長により交流・連携の重要性が増している東アジアをはじめとする世界市場における競争力強化を図る。

特に、太平洋側の港湾諸港と、中国をはじめ東アジア諸国との交易が急増している日本海側の港湾諸港との連携を強化するとともに、両圏域の経済交流を図り広域物流ネットワークの利用促進につなげていく。

さらに、広域物流ネットワークを支える基盤整備を一層進めることにより、両圏域を一体化するネットワークの構築を総合的に進めていく。

■具体的取組内容

- (1) 極東・中国をはじめとする東アジアマーケットへの交易拡大とそのための域内連携の強化
 - ・特定重要港湾など主要港についてのポートセールスの積極的な展開及び連携による利用促進
- (2) 経済交流による広域物流ネットワークの利用促進
 - ・経済団体間の「共同宣言」に基づく定期的な懇談会の開催など、両圏域の経済団体の交流の促進
- (3) 北陸圏・中部圏を一体化する広域物流ネットワークを支える基盤整備
 - ・日本海側と太平洋側を結ぶ高規格幹線道路や地域高規格道路の整備促進
 - ・物流ネットワークの効率化に資する高機能物流センターの整備と利用促進

北陸圏との連携プロジェクト 骨子(案)

3. 環白山・環北アルプス広域エコロジープロジェクト

■目的・コンセプト

産学官民の様々な主体の連携により、環白山地域（白山国立公園とその周辺地域）及び環北アルプス地域（中部山岳国立公園及び飛越地域）の類まれな自然・景観の保全と再生、その自然に育まれた歴史、文化の保全に取り組む。また、その適正な利用の推進を図ることにより、持続可能な地域振興にも繋げていく。

さらに、これらの地域は、日本海側と太平洋側に流れる河川の水源地を有する「分水嶺地域」であることから、分水嶺周辺における森林整備をはじめとした自然環境を保全する取組を各河川の流域圏における中流域・下流域にも発展させ、環境保全意識を高めるとともに、上下流連携（都市・農山村連携）を促進する。

■具体的取組内容

- (1) 両圏域に跨る豊かな自然の保全のために野生生物の生息環境や生態系の保護・管理を推進
 - ・両圏域に跨る山岳地帯におけるツキノワグマの広域保護管理
 - ・両圏域に跨る山岳地域における高山植物等希少な野生動植物の保護
 - ・両圏域に跨る山岳地域における自然環境の保全に資する施設整備の推進
 - ・入山規制等による自然環境の保全
 - ・国有林内の保護林を連結した緑の回廊の保全
- (2) 文化的・自然的景観の保全・継承のため、両圏域に存する優れた景観の世界遺産登録に向けた取組の推進
 - ・両圏域に存する優れた文化的景観の世界遺産登録に向けた取組の推進
- (3) 流域圏連携をはじめ、多様な連携による森林保全の推進
 - ・上下流連携による森林整備
 - ・間伐の推進及び間伐材の利活用による森林保全の推進
 - ・多様な関係機関の連携による総合的な流木対策の検討・推進

北陸圏との連携プロジェクト 骨子(案)

4. 広域防災・災害応援ネットワークプロジェクト

■目的・コンセプト

高い確率で発生が予測される東海、東南海、南海地震や近年の日本海側で発生している地震等による被害及び気象変動に伴う豪雨等により見込まれる風水害、雪害に対して、被害を最小限にするため広域的な相互支援体制の充実を図るなど、地域防災力の強化に両圏域が一体となって取り組む。

さらに、発災時における代替補完機能を考慮した広域交通体系の構築を推進することにより、災害に強く、人々が安心して生活することのできる地域づくりを進める。

■具体的取組内容

- (1) 災害時に適切に対応できるよう、平常時からの交流促進による防災ネットワークの構築
 - ・災害相互応援協定など広域的な防災・危機管理体制の構築・強化
 - ・官民多様な主体の連携の促進による人的・物的支援(補完)機能の強化

- (2) 迅速な復旧を目指したリダンダンシーの確保
 - ・高規格幹線道路等の整備による広域交通代替機能の強化

東北・首都・近畿圏との連携プロジェクト 骨子(案)

1. 東北圏・首都圏との連携プロジェクト

隣接する東北圏・首都圏とは、東西・南北の交通網で連携しており、中部圏の東の玄関口として、以下の地域において、観光・物流・産業・環境・防災などの分野で積極的な交流・連携を図る必要がある。

◆上信越地域（長野県、新潟県、群馬県）

■目的・コンセプト

長野県、新潟県、群馬県の三県にまたがる上信越高原国立公園をはじめとした豊かな自然環境の保全を進めるとともに、その豊かな自然や全国的にも有名な温泉、良質な雪質を誇るスキー場等豊富な観光資源を活用し、広域観光ルートの整備など広域観光を推進するほか、地震、火山、風水害、雪害などの自然災害に備え、広域的な災害応援体制等の整備や災害時の緊急輸送路等の整備を図ることにより、安心・安全な地域づくりを進める。

さらに、鉄道や道路、港湾の交通ネットワークを有効活用し、環境にも配慮しながら効率的な物流体系の構築を目指す。

■具体的取組内容

(1) 地域内の積極的な交流・連携により地域力の向上を図るため、観光資源のネットワーク化、国内外観光客の誘客を促進

- ・長野・新潟・群馬の三県からなる観光推進協議会による広域観光ルートの整備
- ・各県の観光関係機関との連携による積極的な観光情報の発信
- ・外国人観光客の受入体制の整備

(2) 安心・安全な地域づくりを進めるため、災害応援体制の強化や緊急輸送路等を整備

- ・国等と連携した火山の観測監視体制の充実
- ・消防防災ヘリコプターの運航不能時における相互応援体制の整備
- ・災害時等の緊急輸送を考慮した交通網の整備

(3) 交通ネットワークの有効活用をはじめとした、効率的な物流体系の構築

◆富士箱根伊豆地域（静岡県、山梨県、神奈川県）

■目的・コンセプト

富士山をはじめ富士、箱根、伊豆地域に連なる豊富な自然的景勝地、歴史的遺産など、国際的にも有名な観光資源を活かし、外国人観光客の誘客を促進する。

また、三県にまたがる富士箱根伊豆国立公園の保護・管理など豊かな自然環境の保全に連携して取り組むとともに、富士山の眺望に配慮した景観の形成を促進するなど、地域の魅力向上を図る。

さらに、広範囲で被害が予想される大規模災害に対し、情報基盤の整備等による情報の共有化や広域監視体制の整備等の対策を進め、地域が一体となり防災力の強化を図り、災害に強い地域づくりを進めていく。

■具体的取組内容

(1) 地域資源を活かした、外国人観光客の誘客の促進

- ・地域内にある国際的にも有名な観光資源について、多言語による積極的な情報発信の推進
- ・通訳案内士や通訳ボランティアの活動推進などによる、外国人観光客の受入体制の充実

(2) 地域の魅力向上のため、豊かな自然環境の保全を推進

- ・三県にまたがる富士箱根伊豆国立公園の保全・管理の推進
- ・合同パトロールなどによる地域内における廃棄物不法投棄防止対策の強化
- ・富士山周辺地域が一体となった景観形成施策の推進

(3) 大規模災害に対する安全性の確保による交流の促進

- ・富士山及び伊豆東部火山群等との連携による火山防災対策の強化
- ・連携組織による合同防災訓練の実施などによる地震防災対策の強化
- ・高規格幹線道路や地域高規格道路など代替機能を考慮した交通網の整備

◆甲信地域（長野県、岐阜県、山梨県）

■目的・コンセプト

中央自動車道沿線の産業集積のポテンシャルを活かし、圏域を跨ぐ産業クラスターの形成や産学官連携による新技術・新ビジネスの創造等による産業振興を推進し、産業の競争力強化を図る。

また、豊かな自然環境や歴史文化施設等の観光資源を活用した広域観光を促進し、国内外からの誘客の拡大を図る。

さらに、希少動植物保護や野生鳥獣被害対策等に広域的に取り組むほか、緊急輸送路の整備等により安全・安心な地域づくりを進める。

■具体的取組内容

(1) 産業の競争力強化を図るため、多様な連携を促進

- ・クラスターの形成推進のため、産業支援機関等のネットワークの活用による産学官連携の強化

(2) 観光資源を活用した広域観光の推進による、観光客の誘客促進

- ・広域観光ルートの整備による誘客促進

(3) 豊かな自然環境を保全するための、連携した取組の推進

- ・有害鳥獣駆除など、地域内の連携による自然環境の保護

(4) 安心・安全な地域づくりのためのリダンダンシーの確保

- ・代替機能を考慮した交通ネットワークの強化

東北・首都・近畿圏との連携プロジェクト 骨子(案)

2. 近畿圏との連携プロジェクト

隣接する近畿圏とは、東西の交通網で連携しており、中部圏の西の玄関口として、以下の地域において、観光・環境・医療・防災などの分野で積極的な交流・連携を図る必要がある。

◆紀伊半島地域（三重県、奈良県、和歌山県）

■目的・コンセプト

吉野熊野国立公園などの豊かな自然や世界遺産である熊野古道など魅力的な地域資源の情報発信を積極的に行うとともに、交通の利便性を確保するため、高規格幹線道路をはじめとする広域交通ネットワークの形成を図り、広域観光等の交流・連携を推進する。

また、誰もが安心して暮らすことができるよう医療相互間の連携や県域を越えた医療の連携ネットワーク化を推進するとともに、大規模地震等広範囲の被害が予測される災害に対し、災害時の相互応援体制の充実を図るなど、安心して生活できる地域づくりを進める。

■具体的取組内容

（１）地域資源を活かした広域観光の推進

- ・地域が一体となり、観光資源やそれらを繋いだ広域観光モデルコースの情報発信を推進
- ・地域資源を活かした交流・連携促進のために、高規格幹線道路等広域交通ネットワークの形成を推進

（２）誰もが安心して暮らすことができる環境を実現するため、各種支援機能の整備

- ・ドクターヘリの三県共同運航による緊急医療体制の確保
- ・誰もが安定的に適切な医療を受けることができるよう医療機関のネットワーク化を推進
- ・三県間の協定などによる災害時の相互応援体制の強化

◆岐阜、三重、福井、滋賀地域（岐阜県、三重県、福井県、滋賀県）

■目的・コンセプト

多様な文化交流を推進し、地域全体の文化振興を図る。

また、四県連携による廃棄物不法投棄対策や環境林づくりなど、環境保全に関する取組を進める。さらに、これらの交流・連携を支える広域交通ネットワークの形成を図る。

■具体的取組内容

（１）地域の文化振興のため、多様な文化事業の推進

- ・地域の特色を生かした文化交流活動の促進

（２）環境保全に関する取組の推進

- ・県境における路上検査の共同実施等による廃棄物不法投棄対策の強化

◆京滋奈三地域（京都府、滋賀県、奈良県、三重県の内陸部に跨る地域）

■目的・コンセプト

神社・仏閣等に代表される歴史的価値の高い数多くの文化遺産など、有数の歴史・文化を有しており、文化を蓄積した歴史街道の中心として、広域交流を推進する。

また、文化・観光による集客交流や質の高い環境の保存・創造に向けた取組を推進する。

■具体的取組内容

（１）歴史街道を中心とした、広域交流の推進

- ・歴史街道を中心として蓄積した文化を活用した広域交流の推進

（２）文化・観光による集客交流の推進

- ・文化・観光情報の提供やリゾート・レクリエーション機能等の充実

（３）質の高い環境の保存・創造の推進

- ・環境と共生しながら豊かに暮らすことができる地域づくりの推進